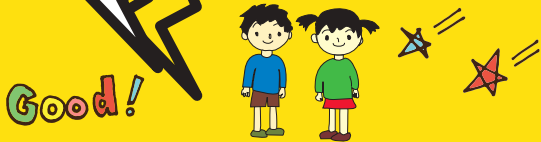


●特集 青少年サークル紹介

きみもおいでよ ぼくらのサークル



『青少年サークルとは?』

タイ国日本人会会員の子どもたちを対象に活動している演劇、剣道、茶道、柔道、水泳、バスケットボール、バレーボール、ブラスバンドの8サークルのことです。日本人会の青少年部に属し、運営は部員の保護者全員で行っています。

『指導者は?』

一般の有志の方です。保護者をはじめ有志の方がボランティアとして指導しています。

『参加するには?』

日本人会事務局までご連絡ください。

【日本人会事務局】



02-236-1201



info@jat.or.th



活動日時：土曜日 14:00～16:00
活動場所：日本人会スクムビット別館
入部年齢：小学1年生以上
(インター校生可)



演劇

表現する楽しさを味わってみませんか?

パントマイミスト・矢野かずきさんから、ゲームやダンスなどまじえながら、パントマイムと演劇を学んでいます。体の動かし方や表現するにはどうすべきか考えながら、想像力・自主性・国語力を身につけていきます。発言・発表する力も自然と身につけていきますよ。学校も年齢も異なる仲間がワイワイガヤガヤやっています。少しでも興味があれば、一度見学・体験に来てください。

剣道

性別、経験の有無を問わず歓迎、
見学体験可能です



日本固有の武道である剣道は、「剣の理法」の修練による人間形成を目的としています。当サークルでも小学校低学年から高校生の剣士が切磋琢磨し心身の状態を高めています。限られた活動時間ではありますが、自ら考え、工夫するきっかけを与えつつ、一人一人の成長を応援していきます。



活動日時：土曜日 ①16:00～18:00
②15:30～18:00
活動場所：①スクムビット49 ラケットクラブ/ダンススタジオ
②日本人学校
入部年齢：小学2年生以上 (インター校生可、小学1年生要相談)





＊ ＊ 茶道 ＊ ＊

初心者歓迎！インター生や
男子生徒さんも大歓迎！

裏千家バンコク協会から先生をお迎えし、お茶のいただき方、お点前、畳の歩き方などを、一から学んでいきます。茶道の作法を学ぶ中で、美しい立居振舞いやおもてなしの心、また助け合い尊重し合うなど相手を思いやる心も学んでいます。日本でも有効の許状の取得が可能です（入門、小習、茶箱）。季節を感じるおいしい和菓子とお抹茶をいただきながら、素敵な日本の文化と一緒に学んでみませんか？

活動日時：平日または 土曜日（月2～3）9:00～12:00 または 16:00～19:00
活動場所：日本人会スクムビット別館
入部年齢：小学2年生～18歳（インター校生可）

＊ ＊ 柔道 ＊ ＊

初心者歓迎！柔道経験者のお父さん
お母さん、お子さんと一緒に！



タイと一緒に日本の武道「柔道」を始めよう！「礼に始まり、礼に終わる」柔道をとおして【礼】の精神を身につけ、柔軟な心と体を育てます。楽しく体を動かしながら、自然に体幹を鍛え、運動能力の向上を目指しましょう。有段者のコーチが、基本動作や受け身から、優しく丁寧に教えますので、初心者でも安心して始められます。 ※柔道着の貸し出しあり。

活動日時：土曜日 17:00～19:00
活動場所：日本人会スクムビット別館
入部年齢：幼稚園～17歳（インター校生可）



＊ ＊ 水泳 ＊ ＊

良きライバル、良き仲間を作りませんか？

水泳は全身運動であり、体の筋力をバランスよく鍛えられます。泳ぎ続けることで、筋力・体力だけでなく、空間認識能力が育つ、集中力がつくとも言われています。水泳サークルでは、泳ぐことが好きな子が集まり、元気にたくさん泳いでいます。仲間とともに楽しみながら、一緒に泳いでみませんか？

活動日時：土曜日 11:00～12:30
活動場所：OPUS Thailand Co.,Ltd.
入部年齢：小学1年生以上（インター校生可）





活動日時：土曜日 8:00～11:00 * 毎週日曜日 13:00～15:00
 活動場所：B Pro-OnNut 17
 入部年齢：小学4年生以上（インター校生可）

※ バスケットボール ※

※ 仲間と一緒にバスケットボールを楽しみましょう！

フットワーク、ドリブル、パス練習から、シュート、デフエンスなど試合をする上で必要なスキルの習得に向けて、毎週元気に練習しています。バスケットボールを通して基礎運動能力を身につけ、仲間とのつながりを深めていく中で、チームワークの大切さを学んでいます。見学、体験をご希望の方はお気軽にお問い合わせください。



※ ※ バレーボール ※

未経験でも大歓迎！
 仲間と一緒にハイキューしよう!!



活動日時：日曜日 12:00～15:00（入門コース 12:00～13:30）
 活動場所：Wells インターナショナル オンヌット校
 入部年齢：小学3年生～18歳（インター校生可）

バレーボールは、仲間と力を合わせ、ボールをつなげていくスポーツです。コートの中で共に喜び、ミスは仲間でもフォローする、そんなバレーを通して「仲間との信頼」や「諦めない心」が育ちます。また、経験豊富で熱心な指導者のもと、子どもたちもどんどん上達していきます。現在、入門コース10人、選手コース16人の合計26人で週に1回活動しています。女子メンバー絶対募集集中です!! 見学・体験は随時受け付け中ですので、お気軽にお問い合わせください。



活動日時：土曜日または日曜日 12:00～15:00（週1回）
 活動場所：日本人会スクムビット別館
 入部年齢：小学4年生以上

※ ブラスバンド ※

※ バンコクと一緒に音楽を楽しみませんか？

音楽が好きなた、ブラスバンドサークルと一緒に活動しませんか？ はじめは慣れない楽器に悪戦苦闘するかも知れませんが、みんなのでひとつの曲を創り上げていく達成感や楽しさは、他では得ることができない貴重なものになるはず。それぞれのパートがひとつのハーモニーを創り出す醍醐味をぜひ一緒に味わいましょう♪ 初心者・経験者問わず部員募集集中です♪ お気軽にお問い合わせください。

青少年サークル

事始



対談 原 恒夫さん × 石井良一さん

サークル誕生50年

タイ国日本人会の青少年サークルが発足して今年で50年を迎えます。昭和、平成、令和の三つの時代にわたり子どもたちを育ててきたサークルが、「なぜ」どのようになされたのか。

発起人であり立役者である元バンコク日本人学校教諭の原恒夫さんと、人脈を活かし協力を獲得しながらともに発足にこぎつけた石井良一さんの半世紀ぶりの対談が実現しました。



日本人会に「子ども会」を

——どのような経緯でサークルを？

原 日本で当時勤めていた学校の校長から勧められて、文部省の第一回海外日本人学校派遣教員に応募してバンコクに来ることになったのですが、僕は元々、国際理解教育に興味があったので、赴任したら現地校と交流したいと考えていました。ですが来てみたら、1972年当時のバンコク日本人学校はタイ政府から認可を受けていない非公式な学校だったので、現地校との交流は難しいと、事情に詳しい先生もタイの方も言うのです。

子どもたちは平日は日本人学校に通い、週末は、日本と違って自由に友達の家を行き来することもままならず家に閉じこもっている様子。せっかくタイにいるのにタイ社会と繋がりがなく、タイの子たちと交流がないことが僕には物足りませんでした。

そこで思いついたのが、日本人会に「子ども会」のような組織を作ることでした。そうすれば日本人同士の交流が生まれ、うまくすればタイ人の子どもとの交流の場ができるのではないかと考えたのです。

僕はタイ語が話せないし、現地と繋がりのある人とやらないとうまくいかないことなので、タイ事情に詳しくタイ語が



原 恒夫 1944年権太生まれ。1972年～75年、第一回政府派遣教員としてバンコク日本人学校に勤務。日本アマチュア無線連盟理事。



流暢な当時20歳の石井青年に協力をお願いした次第です。石井さんは日本人学校の印刷物を引き受けている印刷所の息子さんで、よく学校に出入りしていました。

石井 僕は日本人学校に中等部ができたときの第一期生でした。親父が独立して印刷所を始めて、この仕事をするなら日本の印刷所で学ぶべきだと考え、関連会社に勤めてからバンコクに戻ってきた頃に、原先生に声をかけられたのです。僕も子どもサークル活動のアイデアには賛成でしたし、タイの各方面に繋がりがあったので、協力を申し出ました。僕は自分のできることはするというスタンスで



華道サークル



テニスサークル合宿
1974年3月18日～20日



剣道サークル特別指導会 佐藤
七段 1974年4月23日



ボウリングサークル



バレーボールサークル



泰国日本人会教育部青少年サークル主催音楽発表会 1973年12月23日

1973年8月発足

やってきました。サークルにせよ何にせよ、それが大切だと考えています。

原 石井さんがインターナショナル校に通う日本人の高校生やバンコクの若い日本人に声をかけてくれて会議をしたところ、「バンコク青少年サークル」の構想に賛同してくれてサークルの立ち上げが決まりました。母体となる日本人会でも承認されて、教育部の下部組織に入り予算もつきました。

——1973年8月14日開催の理事会の議事録に「日本人青少年の会の発足について 十才、十八才の青少年を対象とし、土、日曜や長期の休みの善用を計り、文化、体育的活動やタイ青少年との交流を目的に、日本人会の下部組織として、「日本人会の会」を結成したいとの申出を受けた」という記述があり、同年11月13日の議事録では「会員数既に一五二名となり十月二十七日大使館講堂に於いて総会を行い、その後で楽器演奏があった」と。青少年サークルが在住日本人の子どもたちにかに求められていたものであったか、瞬く間に増えた会員数から伝わってきます。

どのサークルができて、音楽指導は学校の坂下先生、茶道は日本料理店の女将さん、華道とボウリングは僕のクラスの生徒の母親にお願いしました。

原 石井さんの車で運動場探しをしましたね。

石井 あちこち走り回りました。原 覚えていますか？ バレーボールのコートを借りる件で国立競技場に行くことになっていた当日の朝、石井さんに急に仕事が入り、仕方なくタイ語のおぼつかない僕が一人で行くことに。局長さんにつたない英語でバレーコートを使いたいと伝えると許可され、併せてテニスコートも使用できることになりました。しかも無料で。関連の体育大学の教師が指導を引き受けてくれることになり、その繋がりでタイの高校と交流試合が実現して、タイの生徒たちとの交流が生まれました。

石井 そのときからのおつきあいで、国立競技場を後に日本人会のラムウオン盆踊り大会の会場として使わせてもらえることになったんですよ。

原 あの頃はサークルが50年も続くとは考えていませんでしたが、日本人会の組織になったことがよかったのだと思います。今、日本では学校教育と社会教育を分ける風潮がありますが、それを先取りしていました。これからずっと続いてほしいと願っています。

(2023年5月17日 於・酒の店)



きっかけは タイ vol.21

タイから繋がるライフストーリー



2019年

相原ユタカさん

元プロサッカー選手
◆ユタカフットボール
アカデミー代表

障がい者でプロの 選手になった僕が

障がいをもつ子らに

伝えたいこと。

— サッカーを始めたのは？
小学2年生のときです。兄がやっていたので小学校のサッカーチームに入りました。毎日の練習が楽しくて、Jリーグはまだなかったのになぜかプロ選手になりました。プロがなんなのかわかってなかったのですね。高校までサッカーを続けて、卒業後は半導体関係の企業に就職し、4年目には働きながら所属チームを探しました。—
— それでタイリーグに？
日本でJリーグのプロテストを受けようとしたけれど、どのチームも取り合ってくれなかった。海外でプロになる道を模索していたら、たまたま知り合ったラオス人が、タイのサッカー協会に知人がいて、連絡を取ればチームのメンバーになれると言う。でもタイに発つ1週間前に先方から会えないと言わ

れ、しかしすでに航空券を買っていたしもう行くしかなかったのです。事の発端となったラオス人の知り合いのまた知り合いがホテルに来てくれて、困っているならうちに泊まっていたと言ってくれました。
— お世話になっていたコンドミニアムの前に荒れたフットサルコートがあって、仕事が終わる時間になると三々五々人が集まって試合を始めるので、僕もまけてもらおうことにしました。一番目立つプレーをしようと思いがけてやっていたら、しだいに友達が増えてきて、あるとき「お前がプロになりたい日本人か？俺の親父がHobacco(タイリーグ)の監督を知っているから紹介してやる」という人が現れ、その監督の関係する地方大会に連れて行ってくれたんです。その試合で点をと



お子さんの通う学校のサッカーチームで臨時コーチとして指導。2023年5月、日本にて

Yutaka Aihara

1979年神奈川県藤沢市生まれ。兄の影響で小学2年生のときにサッカーを始めチームに参加。先天的に左腕の手首から先が欠損しているハンディキャップをかかえながらもプロ選手を目指し、タイ、バングラデシュ、ウガンダにおける初の日本人プロ選手となる。引退後、2009年にユタカフットボールアカデミーを設立し、在住日本人の子どもの指導をする。タイのろう学校、孤児院でフットサルを指導。2019年、障がい者が活躍できるプロフットサルクラブ「YFAシラチャ」を立ち上げる。

僕が伝える意味

— フットボールアカデミーを立ち上げた経緯は？
実は当初、日本で障がい者サッカーの指導をしたいと考えていました。
障がい者でプロサッカー選手になつた人はいない。なら

って評価され契約することに。Hobacco FCでワンシーズンプレーしました。2003年のことです。月給ですか？月1万2000バーツで、1回練習に行くくと300バーツだったからトータル2万バーツくらいでしたね。
— その後は？
バングラデシュで9カ月、アフリカのウガンダで8カ月、初の日本人プロ選手としてプレーしました。
障がい者サッカーには、目の見えない人のブライインドサッカー、手足の切断障がいをもつた人のアンブレイサッカー、車椅子サッカー、耳が聞こえない人のデフサッカーなどあるので、耳が聞こえないだけならプロを目指すことができるだろうと思ひ、サッカーを教えるために東京のろう学校の門を叩いたんです。ところが閉鎖的で、あなた誰ですかという対応。中田英寿なら別だったかもしれない。それで相原ユタカのブランド力を上げるために一旗揚げようと決意した頃、シラチャに日本人学校ができること知って、2009年にまず日本人向けのサッカー

Q あなたにとってタイとは？

いちばん仕事を しやすいところ



2022年のDeaf Kids Dream Futsal Team Project 第2回スポンサーカップ

2年後にバンコクのろう学校にサッカー指導の話をしたら、二つ返事ですぐに来てくれと言われて教えるようになりましした。教え始めてすぐにこいつらは日本に連れて行くかと思いましたが、日本の子どもたちにバンコクのろうの子のエネルギーを見せてやりたかったのです。

3年くらいかけて日本の受け入れ先を探して、東京のろう学校が引き受けてくれることになり、日本側の参加者は50人集まって、国際交流試合を行いました。翌年は日本の子どもたちをタイに招くことにして「子どもたちの視野を広げるためにも外国に行ってみませんか。来年この子らに会いに来てください」と言ったら、しぶしぶ5人だけ来てくれました。その翌年、僕らが日本に行くこと、覚えている子どももいて友達もできて、次は10人がタイに来てくれました。

障がいのある子どもたちの活躍の場を広げたい

サッカーをやっている日本のろう者の子どもたちに将来の夢を尋ねたら、サッカーの日本代表になりたいと言う子がいなくなりました。もったいないじゃないですか。日本にはプロチームがあつて、耳が聞こえなくてもプロを目指せるかもしれないのに。もっと活躍の場を広げられたらという気持ちがあつて、日本の子どもたちがタイに来たときにプロサッカーチームを呼んで、サッカー教室をやりましした。次に僕らが日本に行つたときには東京でイベントを開いて

もらった。そうするうちに子どもたちの意識が変わってきて、急に上手くなった子が出てきました。話を聞くとプロサッカー選手になりたいと言う。ろう学校でしかサッカーをやつてこなかったけれど、地元で健常者の子たちのチームに入るようになった。一方、タイの子たちの中にもタイ代表になりたいと言う子が現れました。

——フットサルクラブを運営されていると聞きました。

この子らが将来プロを目指す気持ちなら受け入れ先を作ろうと、2019年にシラチャのフットサルクラブの経営を買取りました。障がい者が活躍できるプロフットサルクラブがコンセプトの「YFAシラチャ」です。健常者とするろう者の選手を一緒に集めて現在選手は20名、うちろう者は4名です。

——今後の活動は？

シラチャにホームグラウンドを作りたいですね。ホームアリーナを作つて、地元に着したイベントをして街おこしもできるような場所を。

もうひとつはすでに始動している、ろう学校と企業を繋ぐ活動です。生徒たちが自信をつける自立できるように、就職率を上げるために、企業の方に学校に来てもらい、どんなスキル、人材がほしいか話していただいています。

今やっていることのすべてが、僕らを見て元気になつてくれればという願いからです。僕ら自身が障がい者のシンボルになりたいと思つています。

——ありがたいと思つています。



俳句と短歌の広場

◆メナム句会は、二〇二三年三月～五月句会(兼題・火焰樹、草餅、他、当季雑詠)、または新作の自選二句です。

◆パンコク短歌会は、二〇二三年三月～五月歌会(題詠・桜、旅、オノマトペ)、自由題、または新作の自選一首です。

君逝きて火焰樹がもうこんなにも イーブン美奈子
 句友逝く火焰樹眠り覚める頃 浮田恒夫
 星となる句友を偲ぶ天の川 大竹茜子
 金^{きん}雨^う花^かが黄色く染める分離帯 阪口ぐっち
 草餅のやうないびつさ人もまた 竹内元子
 火焰樹もいろとりどりの南国の夏 山川喜美代
 火焰樹下惜しまれ愛され逝かれけり 山本良子
 ワインの香ひと夜で消えし噴^{ヤリナムフ}水草 侘 助

ご案内

【メナム句会連絡先】〇九〇・九七〇・二二五六
 minakobar@gmail.com (イーブン美奈子)
 【パンコク短歌会連絡先】〇八九・八九一・二六八三
 miekobkk@gmail.com (森上美恵子)



昨日ゐし人もう在らず洗濯機に水たばたぼと溜まつてゆくも
 イーブン美奈子

厨房のポキキューズさんに目礼しすぎきのパイにナイフを入れる
 斎藤由利子

ロゼワイン抱えて向かう須磨浦の桜満開花冷えも善し
 阪口ぐっち

キシキシと誰かがわきを通りすぎ逝ったを知らぬ君かいあれば？
 申人

三年半ぶりの息子に唐揚げをプチプチプチ油も跳ねる
 那須世子

別物と知りつつテラスに身を伸ばしタイ桜眺む二十三階
 森上美恵子

また一人ライン残してパツと消え天国の席温めてるの？
 山本育子

大航海の栄華を残すアズレージョ崩れてもなほ青き誇りよ
 侘助

二〇二三年四月二十七日、会員の阪口ぐっち(本名・秀貴)さんが六十三歳で急逝されました。会員一同、謹んでご冥福をお祈り致します。

2023年度 タイ国日本人会 定期総会のご報告



会場の皆様方と協力して日本人会では様々なイベントを実施しています



定期総会概要

日時：4月27日（木）18:00～20:30
会場：Glowfishスタジオ（サートンタニビル2F）
出席者：72名 欠席委任状：589名（議長に一任）
内容：

◎第一部 定期総会

1. 定期総会開会
2. 議長選出
3. 総会成立
4. 2022年度一般報告
2023年度方針説明（島田会長）
5. 日本人会名誉顧問挨拶
（在タイ日本国大使館特命全権大使梨田和也大使）
6. 決議事項（太田総務部長）



【第4章18条 会費について】賛助会員費の新料金体系導入に伴う規約の変更

【第2章5条1 普通会員について】「日本国籍の者と婚姻関係にある者」を追加

【第2章5条4 準会員について】賛助会員企業所属の準会員については、普通会員からの推薦を撤廃

7. 2022年度会計報告・2023年度
予算報告（豊田会計部長）
8. 2022年度会計監査報告（宮内
監事）

9. 質疑応答

◎第二部 10年表彰・表彰状授与・記念品贈呈（島田会長・太田総務部長）

◎第三部 懇親会（於：日本人会本館レストラン）



梨田大使

島田会長

去る4月27日（木）、タイ国日本人会2023年度定期総会をGlowfishスタジオにて開催し、日本人会名誉顧問である、在タイ日本国大使館特命全権大使梨田和也大使をはじめとして、約70名の会員の皆様にご出席いただきました。出席者と合わせた委任状総数は661名となり、総会は成立し、終了いたしましたことをご報告申し上げます。

上げます。今年の総会では、決議事項3件に関して異議なく承認されました。改定されました規約の詳細については、日本人会ウェブサイトにてご確認ください。第二部では日本人会110周年を記念し、10年表彰を実施し、また3年ぶりとなる懇親会では、お食事を囲みながら会員の皆様に親睦をはかっていただきました。

※当日配布資料（会計報告など）は日本人会のウェブサイトからご覧ください。



島田会長挨拶

皆様ありがとうございます。
会長の島田厚でございます。

日本人会が当地に設立されてから110周年を迎える今年、日本人会の会長として、この総会で皆様にご挨拶させていただきます。2019年以来、コロナ禍の影響でオンライン開催しておりますが、ようやく本年、会場でこうして皆様と実際にお会いして開催することができ、大変うれしく思っております。

2022年度活動報告

個人会員は、2022年度3月末で4591名と、前年度末に比べて16名増加いたしました。コロナ禍には入会が1100名、退会が2000名という状況が続きましたが、2022年度におきましては、前年と比較し、入会者数が47ポイント増加、退会者数は20ポイント減少となり、久しぶりに入会者数が退会者数を上回りました。また、賛助会員は、入会28社、退会30社と、残念ながら増加には転じませんでした。ご入会く

ださる企業数が徐々に戻ってきている状況です。

2022年度当初の予算では、350万バーツの赤字を見込んでおりましたところ、赤字幅を大幅に縮小し、19万5000バーツの黒字を達成することができました。ただし、2023年度についても大幅な会員増の期待は難しく、460万バーツの赤字予算となっております。

会館利用状況

会館利用については、タイ政府の規制緩和が進んだことから、7月以降、会議室や図書館の利用人数制限を撤廃しました。これに伴い、各活動が活発に再開され、会館内の活気が戻ってきました。

新しい形態での大型イベント

日本人会主催の大型イベントも、新しい形態を模索しながら再開しました。

7月から9月にかけては、2年ぶりとなる第45回ソフトボール大会を開催しました。コロナ禍の影響で、会場の確保に苦勞

しましたが、少年野球チーム・バンコクサンダースのご協力によつて、クイーンシリキット球場をお貸しいただき、参加者の皆様にも十分楽しんでいただけような試合数を確保できました。19チーム、総勢360名の方にご参加いただきありがとうございます。

また、3年ぶりとなるチャリティーバザーは、10月にスクムビット別館にて開催いたしました。感染防止面での安全に配慮した小規模なバザーとはなりましたが、1972年から始まった日本人会チャリティーバザーの歴史や意義を知る機会を提供できたのではないかと思います。

「ラムウオン盆踊り大会」は2017年以降開催しておりませんが、新しい試みとして、日本関連の人気イベント「バンコク日本博」JAPAN EXPO THAILAND 2023」に盆踊りの披露という形で参加いたしました。1万人規模のイベントを、ボランティアの手を借りながら日本人会単独で開催することは現状では厳しく、今後の「ラムウオン盆踊り大会」の開催方法については、どのような形態が良いのか、今後も引

き検討してまいります。

日本人会の子育て・生活支援の復活と強化

子育て支援・生活支援についても、積極的に活動を継続しています。会員以外の方にも会館利用の門戸を広げるべく、2021年からビジター制度を導入しました。子育て支援・生活支援のイベントは、会館利用料収入や会員誘致の大きな柱になっています。

●コロナ禍の中、オンラインを中心に活動していた出産準備教室・すくすく会は、会館での活動を再開しました。

●みんなの相談室は、対面での悩み相談のほか、計34回のお茶会やワークショップを開催、外国で暮らす不安や心細さを解消し、友達作りの一助になるべく活動をしていただいています。

●バンコク子ども図書館では、これまで手作業で行っていた貸出・返却をシステム化し、6月にリニューアルオープンしました。また、お子さまへの読み聞かせをおこなう「おはなし会」も6月より再開し、以降、毎月開催していただいています。

●以前は、バンコク日本人学校



ご出席いただいた梨田大使・理事・幹事・オブザーバーの皆様

にて活動していた青少年サークルですが、コロナ禍、部員保護者や指導者の方には、活動場所の確保や、練習方法の検討など、大変なご尽力をいただいております。ようやく9月より、一部のサークルが、バンコク日本人学校での活動を再開しました。バンコク日本人学校及び関係者の皆様のご協力に

感謝申し上げます。

● コロナ禍の規制中、2021年度は1回しか開催できなかった英語検定ですが、2022年度は全3回実施することができました。

● LDH JAPANとの共催で『DREAMS for CHILDREN』というダンス企画を行いました。LDH所属のBALLISTIK BOYZ & PSYCHIC FEVERのメンバー14名が、子どもたち40名を対象に3カ月間ダンス指導を行い、両グループとともに2月のJAPANESE EXPOのステージに立ちました。

日本人会の 地域社会貢献について

地域社会貢献活動も、日本人会が大切に行っている活動のひとつです。

今年度も寄付先の一般公募を行い、14団体から申請が寄せられました。慎重に審議を重ねた結果、10団体に総額69万7300円の寄付を決定しました。

2023年度活動計画

今年度は、四つの施策を重点的に行ってまいります。

① 賛助会員（法人会員）の新しい会費制度の導入……賛助会

員の会費について、新しい金額体系を導入します。新しい料金体系は、特典として一定数の個人会員登録が可能になるという形態です。現在も、企業で個人会費をご負担いただいているところが多くございますが、都度の精算に関する事務負担が大きいとお声をいただいております。新しい料金体系へと移行いただくことで、このような煩雑な事務作業が軽減されることとなります。

② 多様な理事会メンバー……多様な理事会メンバー……ダイバーシティを目指します。今回、新たに女性理事2名、女性オブザーバー1名に理事会に加わっていただきました。普段、活動の主体となっている女性の意見を反映し、日本人会の活動をより身近な活動としていきますので、会員の皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。

③ 各イベントの新しい形での再開……ソフトボール大会は、アーミーグラウンドにて開催いたします。チャリティーバザーについては、コロナ禍前と同様にホテルに会場を移し、9月23日（土）にホリデーインスクムビットでの開催を予定しております。好評のタイ語教室については、オンラインに加えて別館

での開催も予定しており、皆様への選択肢が広がるような内容を検討しております。2023年度も、会員の皆様方と協力して、日本人会ならではのイベントを充実させていただきます。

④ オンライン入会……2021年度以降、システムの刷新を進めています。当初は、2022年度下期の実用化を目標に、ホームページ上にて入会手続き、住所変更、会費のお支払いができるよう準備をしております。2023年度中には実用化すべく調整しているところがございます。

最後となりましたが、これからもタイ国日本人会は、日本人同士の相互援助はさることながら、タイ社会と長きに渡って融和と親睦を図ることを目的とした団体であり続けるために、会員の皆様と活動を展開していきたいと思っております。また、日本人会の活動には、大変多くのボランティアの方々に関わっていただいております。皆様方のご協力に感謝するとともに、今後とも、より一層のご支援をお願い申し上げます。

本日は、ありがとうございます。

表彰10年

2023年度の10年表彰に推薦された方々

【在任10年以上の理事】

石井良一……2010年より日本人会の理事として活動。

【日本人会同好会・実行委員会などに10年以上協力した方】

深澤伸子……2002年よりバイリンガルの子どものための日本語同好会の指導者として活動。

美穂子ケウホワサイ……2013年よりバイリンガルの子どものための日本語同好会の幹事を務める。

坂東真由美……クルンテープかるた会の代表を2010年8月の日本人会登録以前より務めている。

イーブン美奈子……メナム句会の活動に尽力し、2006年以降6回、句集の編纂に携わり、2010年からは本誌のバンク短歌会・メナム句会ページの編集も担当。

河野豊……2009年よりソフトボール大会準備委員として活動。

林浩一……2005年〜14年、卓球同好会活動に力を尽くし、2022年に再来タイした後、引き続き中心的な役割を担う。

荒木美代……10年以上太極拳同好会の運営に尽力。日野悠紀江……10年以上卓球同好会・太極拳同好会の運営に尽力。

日高幸子……2004年より剣道サークルの

指導者として活動

し、10年以上クルンテープ剣友会幹事を務める。

羽室耕一……2011年より柔道サークル指導者として活動し、また10年以上クルンテープ写真倶楽部の幹事を務める。

佐々木一彦……2013年より柔道サークル指導者として活動。

松本浩子……2012年より茶道サークル指導者として活動。

吉田明宏……2010年よりバスケットボールサークル指導者として活動。

永井真由美……2011年よりブラスバンドサークル指導者として活動。

花見賀代子……2002年9月よりすすく会のボランティアとして活動。

【15年以上永年勤続の事務局職員】

村上恵一……15年以上永年勤続者(2006年6月〜)。



石井良一さん
2010年より
日本人会の理事
として活動



坂東真由美さん
クルンテープかるた会代表。
2010年8月の日本人会
登録以前より務める

敬称略





吉田明宏さん
2010年よりバスケット
ボールサークル指導者

羽室耕一さん
2011年より柔道サークル
指導者。また10年以上
クレンジング写真倶楽部
の幹事



荒木美代さん
10年以上太極拳
同好会の運営に
携わる

イーブン美奈子さん
メナム句会で
2006年から句集を
編纂、本誌の「俳句と
短歌の広場」の編集
も担当



松本浩子さん
2012年より
茶道サークル指導者



河野 豊さん
2009年より
ソフトボール大会
準備委員として尽力



村上恵一さん
日本人会事務局員とし
て15年以上勤続
(2006年6月～)



日野悠紀江さん
10年以上卓球同好会
と太極拳同好会の運営
に携わる

